

社会的事象を的確にとらえる力を高める指導法の工夫 — 考えの根拠を示す「そのわけカード」の活用を通して —

社会科班 田中 晃 (小学校教諭)

現状と課題



教師

- 事前学習を重視せずに、すぐに見学・観察
- 調べたことを発表する学習の繰り返し

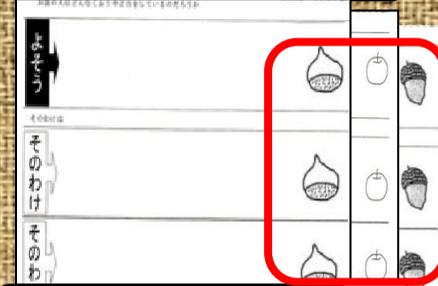
児童

- 社会的事象について話し合ったり考えたりすることが苦手

初めて社会科を学習する3年生だからこそ社会的事象を的確にとらえる力を高める必要があります。

自分の考えの根拠を示す「そのわけカード」を使います。

「そのわけカード」一部抜粋



自分の考え（予想）とそのわけ（根拠）を書きます。

右側のイラストで、交流時に誰の意見が分かるようにしてあります。

3年生 単元名 「人々のくらしと仕事」
スーパーマーケットではたらく人

予想する過程

「そのわけカード」に予想と根拠を示し友達と交流する

個人

消費者の願いについて考える

販売者の工夫や努力について考える

グループ

「そのわけカード」を使って予想や根拠を出し合う



一枚は自分の手元に、もう一枚は複製して切り離し、交流時に使います。

複数の根拠を基に考える力の高まり

確かめる過程

「そのわけカード」に予想したことを照らし合わせる

グループ

スーパーマーケットの見学で出された予想や根拠について調べる

個人

調べた結果を基に自分の予想と比べる



調べた結果を聞き、各自の予想と比べて加筆・修正します。

明確な根拠を基に考える力の高まり

まとめる過程

「そのわけカード」を用いて自分の考えをまとめる

確かめた事実を基に、「そのわけカード」を整理し、自分の考えをまとめます。

客観的な立場から考えることで

自分

（消費者）
家の人

販売者

様々な立場から

多面的な事実の認識

的確に社会的事象をとらえる力の高まり

児童のワークシートの記述

- 自分たちがかんがえたよそうがちがったのも同じのもそのわけがぜんぜんちがったりしておもしろかったです。
- スーパーマーケットにはぼくたちがけんこうに生きられるようにたべものや生活にひつようなものを売ってくれるやくわりがある。

成果と課題

- 「そのわけカード」を用いて消費者や販売者の考えを予想し、その根拠について考える活動を繰り返すことで、様々な立場から社会的事象を多面的にとらえることにつながり、漠然とした知識ではなく社会的事象を的確にとらえる力が高まった。
- 「そのわけカード」に予想を書き込む場面では予想の根拠を挙げさせる支援として、スーパーマーケットの映像や写真の提示も必要であった。